

# 市民医療センター長・事務部長目標

市民医療センター長 繁 英樹(しげ ひでき)

市民医療センター事務部長 林 誠(はやし まこと)



当センターの仕事をもって貢献しているSDGsの主なゴール



ゼロカーボンシティ実現に向けた当センターの方針

環境への負荷の低減を意識した施設運営を行います。

再整備計画の策定に当たっては、ゼロカーボンシティの理念を踏まえた内容とします。

市民医療センターの仕事

市民医療センターは、公的医療機関として地域に必要な医療を提供し、保健医療の向上及び健康維持・増進を図るため、内科の入院・外来診療、小児科の外来・急患診療及び人間ドックなどの健診事業を中心に病院事業を運営しています。

市民医療センターの令和4年度の目標

市民医療センターは、引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止・抑制に取り組むとともに、地域医療の維持・向上を図るため、市内医療機関などと連携していきます。また、安心して子育てができるよう、小児医療体制の安定的な運営に努めるなど、地域に根ざした病院として信頼される医療機関を目指します。

施設の老朽化に対しては、地域に必要な病院機能の検討を行い、再整備計画の策定を進めます。

目標達成に向けた重点事業

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	新型コロナウイルス対策	新型コロナウイルス感染者の拡大防止・抑制のため、感染者数の状況などに応じた迅速な対応を図ります。	新型コロナウイルス感染者の拡大防止や重症化予防のため、発熱者に対し速やかに検査を行い、中和抗体薬の点滴などの治療ができるよう、状況に応じて発熱外来を継続します。 感染症対応病院の後方支援として、急性期治療の終わったアフターコロナの入院患者の転院を受け入れます。	年間を通して発熱外来を実施し、第7波・第8波には体制を強化して対応しました。 感染症対応病院の後方支援として、急性期治療が終了したアフターコロナの入院患者の転院についても、引き続き対応しました。
2	地域医療への貢献と在宅医療の支援	埼玉県地域医療構想に示される地域の医療環境の変化に合わせ、市内の関係機関や地域包括支援センターなどとの連携強化を進め、地域医療への貢献や在宅医療の支援に取り組みます。	地域包括ケア病床の安定的稼働を図るとともに、在宅療養や介護施設からの患者の入院から退院まで円滑に行える地域連携(地域完結型医療)体制を推進します。	関連施設との連携を深め、地域包括ケア病床を含めて昨年度より多くの患者を受入れ、地域医療への貢献に努めました。
3	小児初期救急医療体制の推進	安心して子育てができる医療環境を整備するため、小児科第二次救急医療機関や、市内の関係医療機関と連携しながら、切れ目のない小児初期救急医療を提供できる体制を維持します。	所沢市域全体で、全日、昼間・夜間・深夜の全ての時間帯で、小児初期救急医療体制の安定的な運営に努めます。	第7波・第8波のコロナ患者急増期を含め、すべての時間帯での小児初期救急医療体制を維持し、安心して子育てできる医療環境の提供に努めました。
4	再整備計画の策定と経営状況の改善	施設の老朽化に対応するため、公立病院として担うべき役割や機能等について検討し、院内外の意見を踏まえたうえで「所沢市市民医療センター再整備基本計画」を策定します。 併せて、引き続き病院事業の経営改善に取り組みます。	地域の医療需要や関係医療機関の状況等を検証するとともに、庁内及び審議会等での協議などを踏まえ、令和5年度中に「所沢市市民医療センター再整備基本計画」を策定します。 改革プランを推進し、経営改善を図ります。	基本構想の内容を踏まえ、「所沢市市民医療センター再整備基本計画」の策定を進めました。 また、改革プランを推進し、各種経営指標を改善しました。